

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-64554

(P2000-64554A)

(43) 公開日 平成12年2月29日 (2000.2.29)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	フォーマット (参考)
E 0 4 F 13/08		E 0 4 F 13/08	E 2 E 1 1 0
			M 2 E 1 6 2
E 0 4 C 2/30		E 0 4 C 2/30	D

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-234271

(22) 出願日 平成10年8月20日 (1998.8.20)

(71) 出願人 000003832

松下電工株式会社

大阪府門真市大字門真1048番地

(72) 発明者 村嶋 義行

大阪府門真市大字門真1048番地松下電工株式会社内

(74) 代理人 10008767

弁理士 西川 恵清 (外1名)

Fターム (参考) 2E110 AA42 AA57 AB04 BA12 BA22

BB33 BD23 DA03 DA09 DC06

DC15

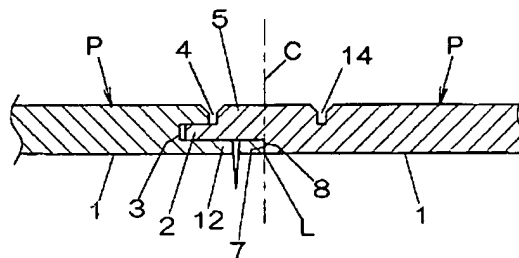
2E162 CC01

(54) 【発明の名称】 壁パネル

(57) 【要約】

【課題】 壁パネルの接続箇所の外観を高めるとともに位置決めが容易におこなえて施工性を高める。

【解決手段】 パネル本体1の一端端に嵌合凸部2を、他側端に嵌合凹部3を形成して、嵌合凸部2を嵌合凹部3に嵌合して隣接する壁パネル間に嵌合目地溝4を形成する壁パネルである。パネル本体1の端部部分に嵌合目地溝4と同様な凹溝14を嵌合目地溝4に略平行に備えた目地表現部5を形成した。



- 1 パネル本体
- 2 嵌合凸部
- 3 嵌合凹部
- 4 凹溝
- 5 目地表現部

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 パネル本体の一側端に嵌合凸部を、他側端に嵌合凹部を形成して、嵌合凸部を嵌合凹部に嵌合して隣接する壁パネル間に嵌合目地溝を形成する壁パネルであって、パネル本体の端部部分に嵌合目地溝と同様な凹溝を嵌合目地溝に略平行に備えた目地表現部を形成して成ることを特徴とする壁パネル。

【請求項2】 目地表現部を形成した側のパネル本体の側端面に、目地表現部の幅方向の中央位置に一致させて、隣接の壁パネルの側端面の当たり面に当接して位置決めする位置決め壁を設けて成ることを特徴とする請求項1記載の壁パネル。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、壁パネルに関し、詳しくは、壁パネルを接続した場合の外観を高めるとともに施工性を高めようとする技術に係るものである。

【0002】

【従来の技術】従来、図7に示すように、壁パネルPa、Paの接続した箇所の外観を高める場合に、壁パネルPa、Paの端部の釘打ち部b、bにおいて釘打をおこなって壁パネルPa、Paを固定した後、断面が略T字状の目地材6を隣接する釘打ち部b、bに載置して隠し釘dで固定して2本の目地溝4a、4aを形成するものであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、このような構成においては、断面が略T字状の目地材6を要し、部品点数が増すうえに、隣接する各壁パネルPa、Paの施工位置の位置ずれ、及び、隣接する壁パネルPa、Paに対する目地材6の位置ずれが生じやすく、これらの充分な位置決めが必要となり、施工性が低下するという問題があった。

【0004】本発明はこのよう問題を解消しようとするものであり、壁パネルの接続箇所の外観を高めるとともに位置決めが容易におこなえて施工性を高めることができる壁パネルを提供することを課題とするものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】請求項1においては、一側端に嵌合凸部2を、他側端に嵌合凸部2が嵌合する嵌合凹部3を形成した壁パネルであって、パネル本体1の端部部分に嵌合目地溝4と同様な凹溝14を嵌合目地溝4に略平行に備えた目地表現部5を形成していることを特徴とするものである。このような構成によれば、嵌合凸部2と嵌合凹部3を嵌合させて壁パネルP、Pを接続した場合に、接続箇所には嵌合目地溝4が形成されるとともに目地表現部5の凹溝14が嵌合目地溝4に略平行になり、接続箇所の外観を高めながら、従来の断面略T字状の目地材6を省いて部品点数を減らし、施工性を高めるものである。

【0006】請求項2においては、目地表現部5を形成した側のパネル本体1の側端面に、目地表現部5の幅方向の中央位置Cに一致させて、隣接の壁パネルPの側端面の当たり面8に当接して位置決めする位置決め壁7を設けてあることを特徴とするものである。このような構成によれば、壁パネルP…の施工壁面の中央部を決める墨出し線Lを基準にして左右に壁パネルP…を施工する場合に、壁パネルPの側端面の当たり面8を墨出し線Lに一致させて壁パネルPを釘打ちなどにて固定し、固定された壁パネルPに隣接の壁パネルPを、嵌合凸部2と嵌合凹部3との凹凸嵌合させるとともに当たり面8に位置決め壁7を当接させることによって接続することで、目地表現部5の中央位置Cを墨出し線Lに一致させる施工がおこなえるのであり、施工壁面に引いた墨出し線Lを基準に施工を容易におこなうことができ、施工性を高めることができるものである。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。図1及び図2は概略断面図、図3は施工箇所の斜視図、図4は詳細図を示している。

【0008】本発明の壁パネルPは例えば腰壁パネルであり、図3に示すように、施工壁面の中央に引かれる墨出し線Lを基準に左右に施工されるとともに左右の端部には、左右幅を調整された端部パネル9が施工される。以下、壁パネルPの構成を詳述する。

【0009】図4に示すように、壁パネルPである腰壁パネルは、左右及び上下の框材10間に鏡板11が保持されたものであり、パネル本体1の一側端の框材10に嵌合凸部2を、他側端の框材10に嵌合凹部3を形成していて、嵌合凸部2を嵌合凹部3に嵌合して隣接する壁パネルP、P間に嵌合目地溝4を形成するものである。嵌合凹部3の裏面側に釘打ち片12を延出するとともに、嵌合凸部2側の裏面に切欠き13を形成している。

【0010】嵌合凸部2側の框材10に嵌合目地溝4と同様な凹溝14を嵌合目地溝4に略平行に備えて目地表現部5を形成している。目地表現部5を形成した框材10の端部裏面に、目地表現部5の幅方向の中央位置Cに一致させて、隣接の壁パネルPの釘打ち片12の先端の当たり面8に当接して位置決めする位置決め壁7を切欠き13の基端に形成している。

【0011】しかして、嵌合凸部2と嵌合凹部3を嵌合させて壁パネルP、Pを接続した場合に、接続箇所には嵌合目地溝4が形成されるとともに目地表現部5の凹溝14が嵌合目地溝4に略平行になり、接続箇所の外観を高めながら、従来の断面略T字状の目地材6を省いて部品点数を減らし、施工性を高めるのである。

【0012】ところで、壁パネルP…の施工壁面の中央部を決める墨出し線Lを基準にして左右に壁パネルP…を施工する場合に、壁パネルPの釘打ち片12の先端の当たり面8を墨出し線Lに一致させて壁パネルPを釘打

ちして固定するのである。次に、固定された壁パネルPに隣接の壁パネルPを、嵌合凸部2と嵌合凹部3との凹凸嵌合させるとともに当たり面8を位置決め壁7に当接させるのである。このように壁パネルP、Pを接続することで、目地表現部5の中央位置Cを墨出し線Lに一致させる施工がおこなえるのであり、施工壁面に引いた墨出し線Lを基準に施工を容易におこなうことができ、施工性を高めることができるものである。

【0013】図5は他の実施の形態を示し、壁パネルPをフラット調に形成したものであり、又、図6は更に他の実施の形態を示し、嵌合凹部3側の端部に目地表現部5を形成するとともに、目地表現部5の幅方向の中央位置Cに一致させて、隣接の壁パネルPの側端面の当たり面8に当接して位置決めする位置決め壁7を設けたものである。但し、他の実施の形態の基本構成は上記実施の形態と共通であり、共通する部分には同一の符号を付して説明は省略する。

【0014】

【発明の効果】請求項1においては、パネル本体の端部分に嵌合目地溝と同様な凹溝を嵌合目地溝に略平行に備えた目地表現部を形成しているから、嵌合凸部と嵌合凹部を嵌合させて壁パネルを接続した場合に、接続箇所には嵌合目地溝が形成されるとともに目地表現部の凹溝が嵌合目地溝に略平行になり、接続箇所の外観を高めながら、従来の断面略T字状の目地材を省いて部品点数を減らし、施工性を高めることができるという利点がある。

【0015】請求項2においては、目地表現部を形成した側のパネル本体の側端面に、目地表現部の幅方向の中央位置に一致させて、隣接の壁パネルの側端面の当たり

面に当接して位置決めする位置決め壁を設けてあるから、壁パネルの施工壁面の中央部を決める墨出し線を基準にして左右に壁パネルを施工する場合に、壁パネルの側端面の当たり面を墨出し線に一致させて壁パネルを釘打ちなどにて固定し、固定された壁パネルに隣接の壁パネルを、嵌合凸部と嵌合凹部との凹凸嵌合させるとともに当たり面に位置決め壁を当接させることによって接続することで、目地表現部の中央位置を墨出し線に一致させる施工がおこなえるのであり、施工壁面に引いた墨出し線を基準に施工を容易におこなうことができ、施工性を高めることができるという利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態を示す部分概略断面図である。

【図2】同上の全体概略断面図である。

【図3】同上の施工箇所の斜視図である。

【図4】同上の詳細図を示し、(a)は腰壁パネルの正面図、(b)は(a)のA-A線断面図、(c)は(a)のB-B線断面図である。

【図5】同上の他の実施の形態を示し、(a)は正面図、(b)は(a)のD-D線断面図である。

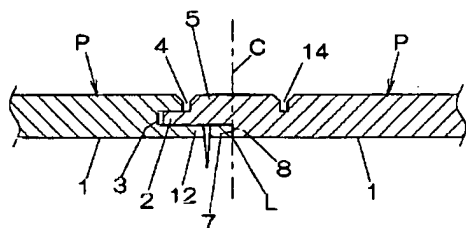
【図6】同上の他の実施の形態の概略断面図である。

【図7】従来例の概略断面図である。

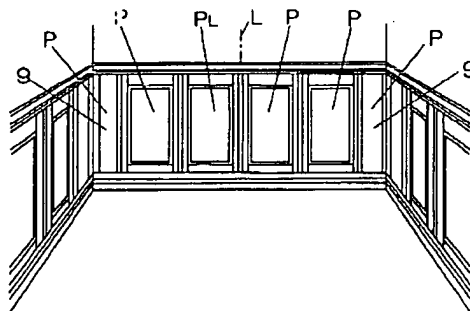
【符号の説明】

- 1 パネル本体
- 2 嵌合凸部
- 3 嵌合凹部
- 4 凹溝
- 5 目地表現部

【図1】

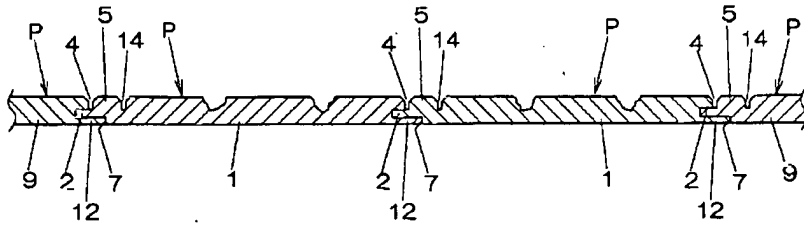


【図3】

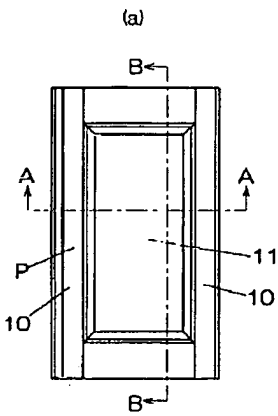


- 1 パネル本体
- 2 嵌合凸部
- 3 嵌合凹部
- 4 凹溝
- 5 目地表現部

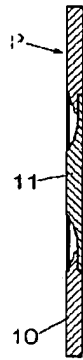
【図2】



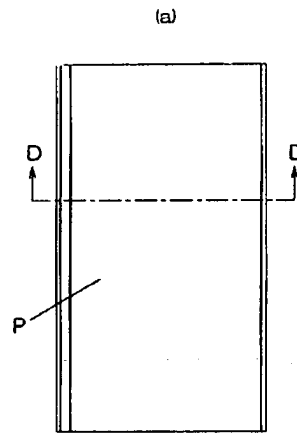
【図4】



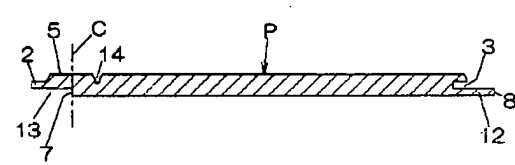
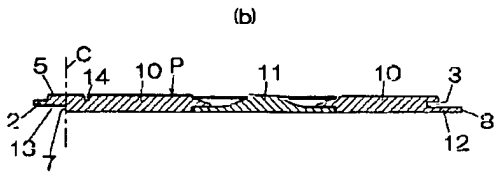
(c)



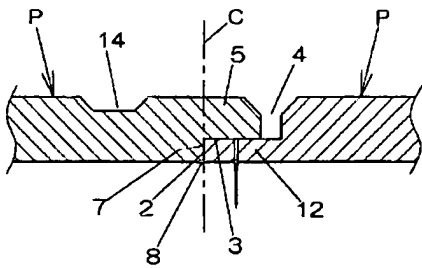
【図5】



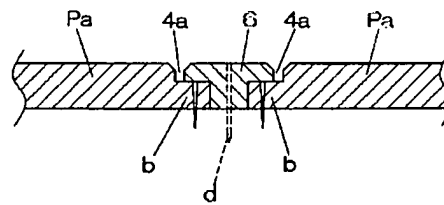
(b)



【図6】



【図7】



DELPHION

Log Out

Work Files

Saved Searches

RESEARCH

PRODUCTS

INSIDE DELPHION

No active trail

Select CR

Stop Tracking

My Account

Search: Quick/Number Boolean Advanced Derwent

Help

Get Now: ☒ PDF | [File History](#) | [Other choices](#)

Tools: [Add to Work File](#) | [Create new Work File](#) | [Add](#)

View: [INPADOC](#) | [Jump to: Top](#) | [Go to: Derwent](#) | [Email this to a friend](#)

**Title:** JP2000064554A2: WALL PANEL

**Derwent Title:** Connecting structure for wall panel [Derwent Record]

**Country:** JP Japan

**Kind:** A2 Document Laid open to Public inspection

**Inventor:** MURASHIMA YOSHIYUKI;

**Assignee:** MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD  
News, Profiles, Stocks and More about this company

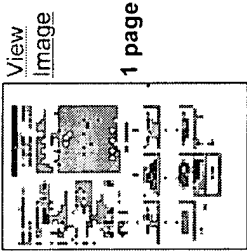
**Published / Filed:** 2000-02-29 / 1998-08-20

**Application Number:** JP1998000234271

**IPC Code:** IPC-7: E04F 13/08; E04C 2/30;

**Priority Number:** 1998-08-20 JP1998000234271

**Abstract:** PROBLEM TO BE SOLVED: To improve the appearance of connecting places of wall panels and enhance the workability by doing positioning easier.  
SOLUTION: A fitting projection 2 is formed at the end of one side of the main body 1 of panel and a fitting recess 3 at the end of other side, and the fitting projection 2 is fitted to the fitting recess thereby forming a fitting joint groove 4 between neighboring wall panels. Then, a joint expression 5 having a recessed groove 14 as same as fitting joint groove 4 is formed almost in parallel to the fitting joint groove 4 at the end portion of the main body 1 of the panel.  
COPYRIGHT: (C)2000,JPO

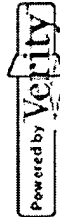


Family: None

Other Abstract Info: [DERABS G2000-275776](#) [DERABS G2000-275776](#)



[Nominate this for the Gallery...](#)



**THOMSON** ★

[Subscriptions](#) | [Web Seminars](#) | [Privacy](#) | [Terms & Conditions](#) | [Site Map](#) | [Contact Us](#) | [Help](#)

Copyright © 1997-2006 The Thomson Corporation

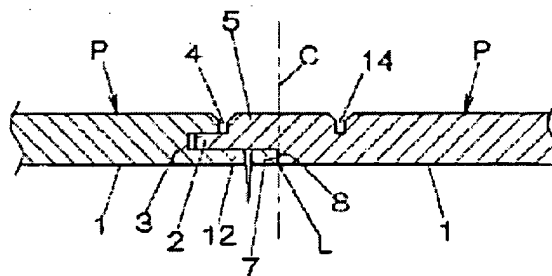
**WALL PANEL**

Patent number: JP2000064554  
Publication date: 2000-02-29  
Inventor: MURASHIMA YOSHIYUKI  
Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC WORKS LTD  
Classification:  
- international: **E04C2/30; E04F13/08; E04C2/30; E04F13/08; (IPC1-7): E04F13/08; E04C2/30**  
- european:  
Application number: JP19980234271 19980820  
Priority number(s): JP19980234271 19980820

Report a data error here

**Abstract of JP2000064554**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To improve the appearance of connecting places of wall panels and enhance the workability by doing positioning easier. **SOLUTION:** A fitting projection 2 is formed at the end of one side of the main body 1 of panel and a fitting recess 3 at the end of other side, and the fitting projection 2 is fitted to the fitting recess thereby forming a fitting joint groove 4 between neighboring wall panels. Then, a joint expression 5 having a recessed groove 14 as same as fitting joint groove 4 is formed almost in parallel to the fitting joint groove 4 at the end portion of the main body 1 of the panel.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide